

「災害の世紀・21世紀を生きる知恵」シンポジウム

東日本大震災・福島原発事故の教訓をポストMDGs・SDGsの目標へ

1. 趣旨

2011.3.11 の東日本大震災と福島原発事故は、21 世紀を象徴する巨大複合災害として、日本社会だけでなく人類社会全体に対してきわめて大きな衝撃を与えた。2011.3.11 から3年がたった現在、東日本大震災と福島原発事故の経験と教訓を、より広くより永い視野から明らかにし、人類社会共通の知恵としてまとめることが必要である。本シンポジウムは、国際社会におけるポスト 2015 年開発アジェンダ（ポスト MDGs）や持続可能な開発目標（SDGs）をめぐる議論に、2011.3.11 の経験と教訓を反映させることを目的に開催する。

2. テーマ

「東日本大震災・福島原発事故の教訓をポストMDGs・SDGsの目標へ：災害の世紀・21世紀を生きる知恵」

“21st Century of Disaster; Lessons from Great East Japan Earthquake and Fukushima Nuclear Accident and Sustainable Development Goals (SDGs)”

3. 主催・協力

主催：環境省環境研究総合推進費S11「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究—地球の限られた資源と環境容量に基づくポスト2015 年開発・成長目標の制定と実現へ向けて—」（研究代表者：東京工業大学・蟹江憲史）

国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）

協力：文科省原子力基礎基盤研究イニシアティブ「原子力産業への社会的規制とリスク・ガバナンスに関する研究」（研究代表者：早稲田大学・松岡俊二）

アジア協働大学院（AUI）推進機構

早稲田大学原子力安全文化・フクシマ復興研究所

4. 日時・会場・定員・使用言語・参加申込方法

日時：2014年5月16日（金）15:00-18:00（14:30開場）

会場：国連大学本部5階 ローズホール

定員：80名（先着順）

使用言語：日本語、一部は英語

参加申込方法：kyuten-fukkou@list.waseda.jp へ、氏名（フリガナ）、所属先、メールアドレスを記載の上、お申し込みください。

5. プログラム

MC：龍原 梢（早稲田大学）

15:00-15:10：開会挨拶：蟹江憲史（東京工業大学）

15:10-15:35：報告 1：Sakiko Fukuda-Parr（ニューヨーク・ニュースクール大学）

「ミレニアム開発目標（MDGs）とポスト2015年開発目標（The global goals as a policy tool in relation to the post 2015 agenda and the MDGs）」

15:35-16:00：報告 2：蟹江憲史（東京工業大学）

「ポストMDGsにおけるSDGsと防災目標(SDGs paying special attention to disaster management and prevention)」

16:00-16:25：報告 3：松岡俊二（早稲田大学）

「2011.3.11（東日本大震災・福島原発事故）の教訓とSDGs（Lessons from Great East Japan Earthquake and Fukushima Nuclear Accident and Sustainable Development Goals）」

16:25-16:45：休憩（Coffee Break）

16:45-17:20：討論者

島田 剛（早稲田大学）、北村友人（東京大学）、森口祐一（東京大学）

17:20-17:50：質疑

17:50-18:00：閉会挨拶：松岡俊二（早稲田大学）